

年頭のごあいさつ



市議会 志木市 議長 安藤 圭介

され、市議会と市との調整役として、市議会の円滑な運営に務めてまいりました。

昨年、市制施行50周年の年であり、東京オリンピック・パラリンピック開催の年でもありましたが、新型コロナウイルス感染症という緊急事態に見舞われ、イベントの中止や延期への対応とともに、感染を予防しながら日常生活を送るためのこれまでにない新しい生活様式が求められる事態となりました。

新年にあたり、市議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。市民の皆さまにおかれましては、平素より市議会に對しまして、深いご理解とあたたかいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昨年の4月の改選を経て、市議会臨時議会において初めて議長に推挙

こうした状況の中、志木市議会においては、昨年7月に議会BCP（業務継続計画）を見直すとともに、同年12月には志木市議会委員会条例の一部を改正するなど、新型コロナウイルス感染症などのまん延防止措置や大規模な非常災害時にオンラインでの会議が開催できるようにするなどの対策を講じてきました。

新型コロナウイルス感染症だけでなく、災害に強いまちづくりを進めるうえで、今後も市民の皆さまの安心につながる支援体制の整備に活かしていきたいと考えております。

また、建築から40年以上が経過し、施設の老朽化が進行するとともに、耐震性能が不足している市民会館と市民体育館の再整備の計画が進んでおり、昨年12月、「市民会館及び市民体育館再整備等特別委員会」を設置しました。今後、協議を重ねながら市民の皆さまにとってより良い公共施設となるように議論を深めてまいります。

今後におきましても、市議会に対し一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一日も早く新型コロナウイルス感染症の事態が収束し、本年が市民の皆さまにとって素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。